

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第135号(2015.03.05 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【目次】

- ・巻頭言……………広島経済大学 経済学部
経営学科 教授 糠谷 英輝
- ・2015年(次年度)1学期 CP/CS 授業計画(シラバス)のご紹介
 - 水曜日開講 『生産管理論の基礎』…ベーシック科目
 - 『ビジネス文章表現』…ベーシック科目
 - 『戦国武将の実像と虚像』…カルチャー講座
- ・経大見聞録
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラムに関する、ご質問やお問い合わせ

【過去の CP 通信をご覧ください】:http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経営学科 教授

糠谷 英輝

3 学期 CP 講師『イスラム経済とイスラム金融』

「イスラム世界」

「アラブの春」以降、中東地域は混乱を極めている。その結果、シリア、リビア、イエメンは破綻国家となり、「イスラム国」の問題では、日本も他人事ではなくなってきている。そもそも日本人には馴染みの薄いイスラムであるが、ムスリム(イスラム教徒)の7割弱はアジア地域におり、ムスリム人口数で世界トップ3はインド、インドネシア、パキスタンである。またムスリムの人口増加率は高く、2030年には世界で4人に1人がムスリムになると予想されている。

イスラムで特徴的なのは、イスラムは宗教であるが、同時に社会規範であり、ムスリムの生活全般を規定していることである。経済から金融に至るまで、イスラムの教えに従うことが求められる。今後のムスリム市場の拡大を見込み、日本

企業は中小企業を含め、イスラムの教えに沿った「ハラル産業」(食品、医薬品、観光等)への参入を急いでいる。未だ先行者利益を獲得できるということもある。イスラム金融では、メガ 3 行がマレーシアでビジネスを開始している。

イスラム経済やイスラム金融は、豚やアルコールといったタブーを除いて、特に変わったものではない。ハラル商品などは安全な商品として、非ムスリムにも好まれている。利子を取らないイスラム金融も、一般金融の既存の手段を応用して作られている。イスラム金融の考え方は、キリスト教などでも古くは同じであり、イスラムはそれを守り続けていると言える。

ただ、宗派等によって、またアジアや中東といった地域や国によって、その解釈等に相違があることが厄介になる。同じイスラムでも、マレーシアやインドネシアではあまりイスラム色を強く感じないが、サウジアラビアなどでは表向きは厳格なイスラムを感じる。しかしそのサウジアラビアでも、その実態は必ずしも厳格なイスラムでもない。サウジアラビアでは木曜、金曜が休日となるが、休前日の水曜日の午後は、隣国のバーレーンに向かうコーズウェイベイと呼ばれる海上道路が大渋滞となる。バーレーンでは飲酒が可能なので、週末にバーレーンで命の洗濯をしに行くのだ。よく言えば柔軟性があるのだが、イスラムをどのように捉えればいいのかと戸惑うことになる。

またパレスチナ人が多いヨルダンでは、さらに民族的な厄介さも生まれてくる。タクシーに乗る際、例えば 2 ディナールで交渉が成立したとする。目的地に到着して、細かい硬貨がなく、10 ディナールを払うと、おつりが返って来ない。おつりを要求すると、「自分は構わない。ありがとう。」との返事がくる。粘って交渉すると、2 ディナールのおつりだけを返し、またそこからさらなる交渉となる。8 ディナールのおつりをもらうまでは、それを繰り返さないとならない。なんとも面倒なのだが、途中で諦めたら、諦めた方が負けで、彼らはそれを楽しんでもいる。時間は神の所有物なので、いくらでも使えるのだ。そんなヨルダンのパレスチナ人もケチなのではなく、お茶を奢ってくれたりする。

このようにイスラムといっても、宗派や民族等によって様々で、一様なものではない。このため、その対応にはタフさが求められる。イスラムは概して親日的であると言われる。イスラム・ビジネスを拡大させていくには有難いことであるが、その前にまずはこうしたイスラムのことをもっと知っておく必要があるだろう。観光などで日本を訪れるムスリムも増加している。イスラムに関する知識は日本においても、益々必要になってきている。

■平成 27 年度(2015 年)1 学期 キャリアアップ・プログラム(CP)カルチャー講座(CS)授業計画(シラバス)をご紹介します。お申込み等の詳細はホームページでご確認ください。

【CP ホームページ】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

【CS ホームページ】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

【キャリアアップ・プログラム(CP)】

- 水曜日開講 『生産管理論の基礎』…ベーシック科目
- 『ビジネス文章表現』…ベーシック科目

【カルチャー講座】

- 水曜日開講 『戦国武将の実像と虚像』

毎週水曜日(5/20,5/27,6/3,6/10,6/17,6/24…計 6 回)

科目名		生産管理論の基礎
担当者		岡田 齋(おかだ ひとし)
副題		ものづくりの仕組みを理解したいあなたのために
対象者		製造部門、生産管理部門、品質管理部門の方にお勧めです
到達目標		ものづくりの最新情報や具体的事例をできるだけ紹介しながら「生産管理論」の主要課題を、できるだけ平易に解説します。そして、自社の課題を見つけ、改善策を提案できることをすることができることを到達目標とします。
概要		生産管理論は、「ものづくりの経営学」という視角から講義を行います。わが国は、貿易立国として「ものづくり」で世界に貢献してきました。今後もものづくりを通じて世界に貢献するという基本的な構造は変わることがないと思われま。一方、最近のICTの急激な進歩は、従前のものづくりの概念を根本的に変える可能性を秘めています。現代は、Internet of Things (IoT) や3Dプリンタという言葉に代表される、ものづくりにおける第4次産業革命の時代が開こうとしています。本講では、日本のものづくりの歴史、最新の動向をふまえて、ものづくりにおける代表的な構成要素を解説します。
授業内容	第1回	オリエンテーション-ものづくりの最新動向
	第2回	ものづくりとは-クルマはどのようにして生み出されるのか
	第3回	生産・製造とは何か
	第4回	開発と生産のプロセス分析
	第5回	生産と工程の歴史分析
	第6回	競争力とは何か
授業の形式		座学
授業の進め方		テーマに関する解説を行った後、具体的事例をもとにディスカッションを行いたいと思います。また、受講者の要望にできるだけこたえるために授業内容を変更するかもしれません。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。
受講者へのメッセージ		ものづくりの概念が劇的に変わろうとしている現在において、生産管理の基本的な理論を理解し、実際のものづくりに活かすことは、熾烈な競争を勝ち抜く源泉となります。多数の受講を期待します。
講師紹介 (自己紹介)		岡田 齋(経済学部 経営学科 教授) 1954年大阪生まれ。1979年 大阪大学大学院工学研究科修了。2006年9月神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻(社会人専門職大学院)修了。2010年3月神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。博士(工学、大阪大学)(経営学、神戸大学)、MBA(経営学修士、神戸大学)、技術士(金属部門、建設部門、総合技術監理部門)。 1979年4月大手製造業に入社。生産技術課長、品質保証部長、調達部長、工場長などを歴任。2007年10月退社後、環境管理会計研究所にて環境経営、CSR経営、環境管理会計などの研究および企業指導を行う。2012年4月より本学経営学科教授。経済産業省委託「サプライチェーン省資源化連携促進事業」診断事業評価委員会委員など歴任。 CSR経営・環境経営、環境管理会計、企業倫理、BCP(事業継続計画)などの研究を行っている。

科目名		ビジネス文章表現
担当者		木本 一成(きもと かずしげ)
副題		相手に伝わるわかりやすい文章を書きたいあなたのために
対象者		ビジネス文章表現に関心のある人
到達目標		ビジネス文章表現の基本、文書作成の考え方を学び、文章表現の応用力を身につけます。
概要		ビジネス文章の基礎は、相手に伝わるわかりやすい文章を書くことです。そのためには、ビジネス文章の特性を理解し、作成の考え方を身につけることです。この講座は、演習を中心に行います。新聞記事やレポートなどを取り上げて、報告・伝達型文章の表現の仕方の特徴を明らかにします。演習では、毎回、目的や課題に即して実際に文章を作成します。特に、課題の解釈、意図の明確化、わかりやすい表現、論理の型などに着目した文章の書き方に取り組んでみたいと思います。
授業内容	第1回	ビジネス文書作成の基本 ーまず書いてみようー
	第2回	起案書・提案書 ー読み手の意識と構成力ー
	第3回	報告文・調査書 ーわかりやすさー
	第4回	お詫び状・手紙 ー敬語と形式ー
	第5回	自分の定型を身につける ーわかりやすさと個性ー
	第6回	Eメール文書の作成 ー簡潔さと礼儀ー
授業の形式		座学
授業の進め方		毎回課題をお出して、その課題をメールで送ってもらいます。それを添削して、次回にお返しします。うまく文書が作成できるか不安でしょうが、個人のお名前は出しませんのでご安心ください。(メールで送られたデータもすべて削除します。)資料は毎回配布しますので、休まないようにしてください。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。
受講者へのメッセージ		ビジネス文書に関する様々な本が出版されています。これらの本で述べられている理論や事例を参考にしながら、文章を書いてみましょう。実際に書いてみることで、内容が良く理解できたり、さらに、自分の書き方の問題点が見えてきたりします。文章を書く上での課題や問題点が見えてきたらしめたものです。その問題点を意識し改善しようとすることで、自分の文章が驚くほど変わってきます。講師自身も決して優れた表現者ではありませんが、みなさんに文章を書き替えていくことの面白さを伝えたいと思っています。
講師紹介(自己紹介)		木本 一成(経済学部 教養教育部 准教授) 1958年生まれ。修士(教育学)。広島大学学校教育学部卒業。中学校国語科の教員をしながら、広島大学大学院学校教育研究科言語教育専攻修士課程修了。大学の附属校で学生の教員養成に携わる。中等教育課程における「生活文から論理的文章・創作文への転換」を研究テーマとしている。

2015年 1学期カルチャー講座シラバス		
担当者名	長谷川 泰志(はせがわ やすし)	
科目名	戦国武将の実像と虚像	
副題	～史実から文芸化への道～	
全体の授業内容	本講座では、現代でもよく知られた戦国武将の人物像が、いつ、どのように作られたのかを探っていきます。その際、虚像を「嘘」として退けるのではなく、読者が望んだ「物語」(虚像)として、史実が文芸へと発展していく様子を考えます。	
授業内容	第1回 5/20	豊臣秀吉～"立身出世の天下人"像の成立
	第2回 5/27	織田信長～"苛烈な革命者"像の成立
	第3回 6/3	真田幸村～"真田丸・智謀の軍師"像の成立
	第4回 6/10	安国寺恵瓊～"高松城の水攻め・戦国一の謀略僧"像の成立
	第5回 6/17	山中鹿助～"七難八苦・尼子再興を目指した忠臣"像の成立
	第6回 6/24	片桐且元～"大坂の陣・苦悩の背信"像の成立
授業の進め方	手紙や日記等の歴史資料(実像)と、戦国軍記等の文学資料(虚像)の両方を使って、物語が作られていく過程をわかりやすく解き明かしていきます。	
教材費など	教材費の負担はありません。	
受講者への	伝説や逸話などもとりあげて、肩の凝らない話をしたいと思っています。	
講師紹介 (自己紹介)	長谷川 泰志(経済学部 教養教育部 教授) 1958年広島市生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程満期退学。1993年より広島経済大学勤務(2002年より教授)。専門は『太閤記』、『信長記』等の軍記文学。共著書に『信長公記を読む』(吉川弘文館、2009年)、『承久記・後期軍記の世界』(汲古書院、1999年)、論文に「軍記の中の安国寺恵瓊」(「鯉城往来」3号、2000年)、「甫庵『太閤記』諸版の成立—正保三年版補入考—」(「国語と国文学」第68巻第1号、1991)など。	

■経大見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。

URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換にご覧ください。

【2/20】広島ハワイ文化交流プロジェクトが無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008650.html>

【2/23】カフェ運営プロジェクトが第 16 回全国まちづくりカレッジ 2015 に参加しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008655.html>

【2/23】岡本ゼミ 第 9 回「オキナワを歩く」の情報を更新しました

http://www.hue.ac.jp/Seminar/sd_oka/

【2/24】東北支援プロジェクトが講演会「災害と復興3. 11と8. 20 あの日を振り返る」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008660.html>

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。ですので投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構ですので寄稿頂ける方は career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

■CP/CSに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp どうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM